

# 学校だより

校訓「自律」「友愛」「勤勉」



生徒作 則松中キャラクター

## 「主体性」を伸ばそう

早いもので、新学期がスタートして約1カ月が経ちました。入学した1年生も徐々に中学校生活に慣れ、委員会活動や部活動も本格的にスタートしました。また、2年生は新たなクラスとなり、担任の先生が固定せず、入れ替わる学年担任制となりました。言われたことをきちんとこなすことも大切ですが、**自分で考えて判断し、行動できる生徒になってほしい**ということから始めたものです。予測困難な時代、社会の変化に対応できるため、周りとは相談しながら、自分で主体的に行動する力が求められます。

3年生は、5月30日(金)に予定している最後の体育大会や進路実現に向けて授業にも真剣に取り組んでいます。中学校は、義務教育最後の3年間です。義務教育を修了する前に、社会に出るために「**主体性を身に付けましょう**」と伝えました。よく似たような言葉では「自主性」という言葉があります。「自主性」と「主体性」で共通する点としては、「誰にも言われなくても行動ができる」ということが挙げられます。では、「自主性」と「主体性」は何が違うのでしょうか。「自主性」とは、あらかじめ決められた目的や目標を、自ら率先して行うことを言います。「主体性」とは、自ら目的や目標を設定し、それに向かって行うことを言います。主体性がある人は、自らの意志で行動を選択し、「**自分で決めたことだから**」と、**最後まで責任を持って取り組む**ことができます。「主体性」の対義語は「指示待ち」です。誰かに何かを指示されないと動けない、受動的な状態を指します。中学校生活の様々な活動で「主体性」を身に付け、3年生の進路選択の時に、「主体性」を持って取り組める生徒に育ってほしいと願っています。

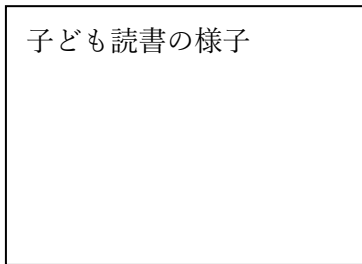
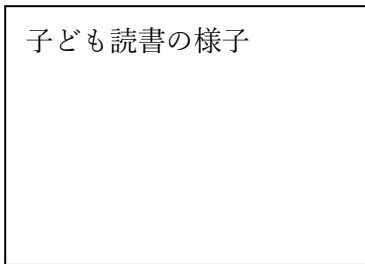
### 【授業参観】

授業参観・学校運営説明会・PTA説明会ありがとうございました。

授業参観・学校運営説明会・PTA説明会様子

## 【子ども読書の日】

放送部の生徒が「モモ」ミヒヤエル・エンデの本を朗読しました。



モモは特別何かができるわけではありませんでしたが、「ほんとうに聞く」という才能がありました。モモはどんな風に相手の話を聞いたのでしょうか。また聞いてもらった人にはどんな変化が起こったのでしょうか。

4月23日(水)は子ども読書の日です。2001年に子ども読書活動の推進に関する法律が定められました。「本」を読むことで言葉の力を身に付けることができます。現実の世界で人と出会うことより何倍も多くの人々の人生に触れ、なかなか体験できない想像の世界を体感できます。

学校の図書室を利用しよう！



5月図書館開館日  
12日、15日、16日  
19日、21日、26日  
27日、28日、29日  
※□は昼・放課後開館  
□以外は、放課後のみ

## 【学びリーディングスクール事業】

3年生理科の授業では、「化学変化とイオン」について学びました。生徒が**主体的・対話的で深い学び**(自ら興味関心を持って、粘り強く取り組み、生徒同士の協働や先生等の人との対話を通じて自分の考えを広げ、知識を関連付けてより深く理解する学び方)の授業研究。生徒

授業の様子

授業の様子

知識を関連付けてより深く理解する学び方)の授業研究。生徒

同士が白熱した議論を繰り広げていました。「学び」は人生を豊かにしてくれます。

授業の一時間一時間を大切に、「わかった!」「できた!」という喜びや楽しさを味わってほしいと思います。

## 【連絡】

・寒暖差が大きいため体調を崩しやすくなり、突然暑くなった日は**熱中症**のような症状をおこすこともあります。**こまめな水分補給(飲み物の準備を)**、**暑熱順化(汗をかくほどの運動を習慣に)**を心がけましょう。